

2018年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査  
 調査媒体: 底質(ng/g-dry)  
 地方公共団体: 北海道  
 調査地点: 苫小牧港

調査対象物質	測定値			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[6]中鎖塩素化パラフィン類(アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのもの。)	60	63	200	※※23	※※27
[6-1] 塩素化テトラデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	25	25	71	※※7.2	※※7.5
[6-1] 塩素化テトラデカン類(塩素数が5から8までのもの。)	23	24	68	※※5.5	※※5.7
[6-1-1] テトラクロロテトラデカン類	nd	nd	1.2	0.86	1.1
[6-1-2] ペンタクロロテトラデカン類	6.0	4.5	12	1.7	1.8
[6-1-3] ヘキサクロロテトラデカン類	8.9	10	27	1.9	2.0
[6-1-4] ヘプタクロロテトラデカン類	6.2	7.1	21	0.95	0.99
[6-1-5] オクタクロロテトラデカン類	2.3	2.3	7.9	0.90	0.93
[6-1-6] ノナクロロテトラデカン類	nd	nd	2.7	0.89	1.2
[6-2] 塩素化ペンタデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	19	23	57	※※4.5	※※4.7
[6-2-1] テトラクロロペンタデカン類	nd	nd	1.0	0.70	0.90
[6-2-2] ペンタクロロペンタデカン類	3.0	3.4	7.6	0.79	0.82
[6-2-3] ヘキサクロロペンタデカン類	6.7	8.0	19	0.81	0.84
[6-2-4] ヘプタクロロペンタデカン類	5.7	7.5	18	0.99	1.0
[6-2-5] オクタクロロペンタデカン類	2.4	3.1	8.8	0.71	0.74
[6-2-6] ノナクロロペンタデカン類	0.90	0.90	2.8	0.52	0.68
[6-3] 塩素化ヘキサデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	11	10	41	※※6.4	※※7.8
[6-3-1] テトラクロロヘキサデカン類	1.6	1.6	3.9	1.1	1.3
[6-3-2] ペンタクロロヘキサデカン類	※1.9	2.0	6.7	1.5	2.0
[6-3-3] ヘキサクロロヘキサデカン類	2.7	2.4	11	0.95	0.99
[6-3-4] ヘプタクロロヘキサデカン類	2.6	2.2	11	1.0	1.3
[6-3-5] オクタクロロヘキサデカン類	1.4	1.3	6.5	1.0	1.2
[6-3-6] ノナクロロヘキサデカン類	nd	nd	1.8	0.78	1.0
[6-4] 塩素化ヘプタデカン類(塩素数が4から9までのもの。)	※5.6	※5.4	26	※※4.4	※※5.7
[6-4-1] テトラクロロヘプタデカン類	nd	1.3	3.5	0.77	0.99
[6-4-2] ペンタクロロヘプタデカン類	1.2	1.2	4.1	0.82	1.0
[6-4-3] ヘキサクロロヘプタデカン類	1.6	1.3	6.3	1.1	1.3
[6-4-4] ヘプタクロロヘプタデカン類	1.4	※0.88	6.1	0.75	0.97
[6-4-5] オクタクロロヘプタデカン類	1.1	nd	4.6	0.64	0.83
[6-4-6] ノナクロロヘプタデカン類	nd	nd	1.7	0.40	0.51

(注1) 「nd」は不検出を意味する。

(注2) ※:参考値(調査対象物質ごとに統一して設定した「検出下限値」未満)

(注3) ※※:アルキル基の炭素数別の検出下限値の合計値である。

(注4) アルキル鎖の炭素数が14から17までで、かつ、塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注5) 塩素数が4から9までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。

(注6) 塩素数が5から8までのものの合計値を算出する際にはndを0として算出している。